

展示会出展力向上支援事業 2020年4月～2022年3月実施予定 (公益財団法人佐賀県地域産業支援センター)

【課題】

展示会出展企業には、

- ①「展示会に出展しているが、なかなか成約に結び付かない」、
- ②「展示会で効果的なPR方法がよく分からない」、
- ③「展示会場で来場者への接客の仕方がよく分からない」、
- ④「出展後、来場企業へのアフターフォローの仕方がよく分からない」といった課題が考えられるが、現状これらの課題に対する支援が十分にできていない。

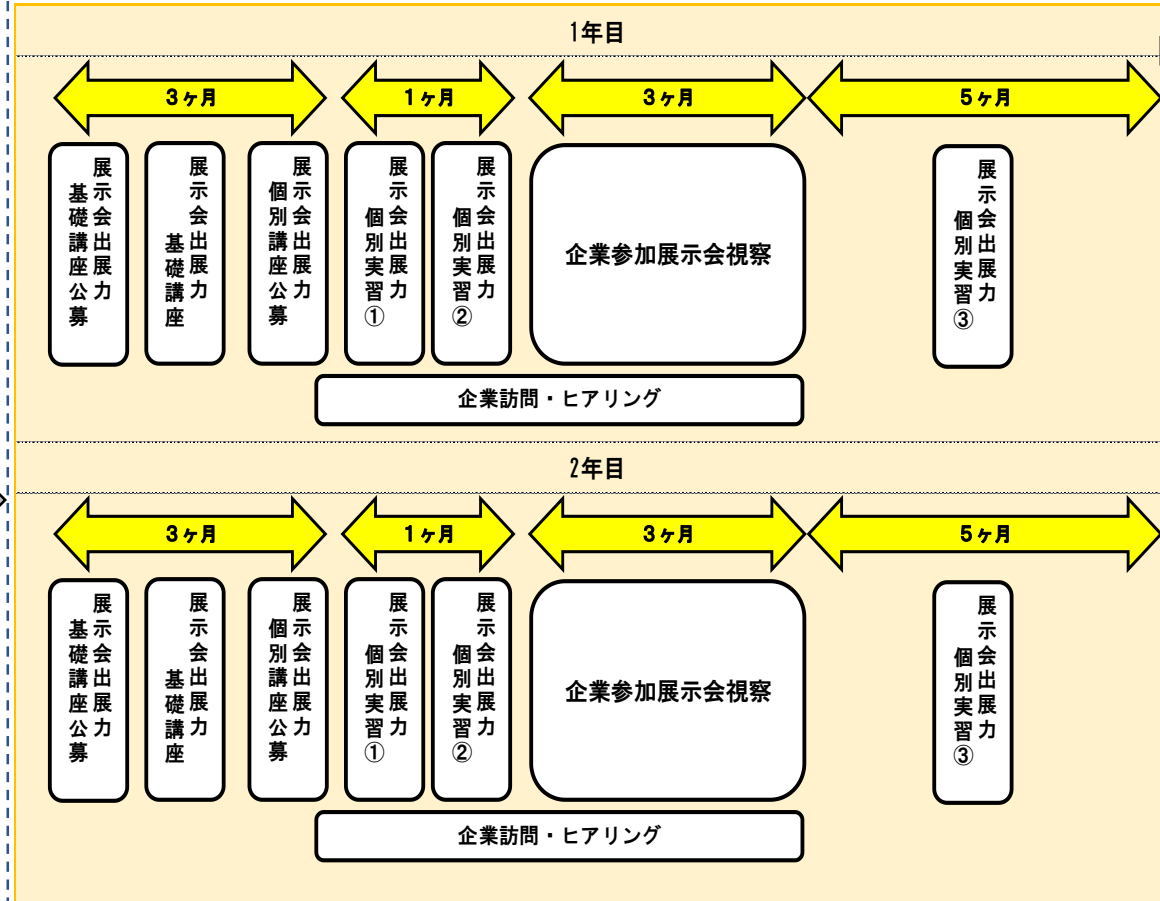
【目的】

展示会出展にあたっての実践的なポイントを学ぶセミナーを開催し、出展者の売上向上につなげる。

【都道府県の施策との連携・親和性】

当県では、①「現場力向上支援」として専門員訪問等による企業の強みを伸ばす支援を実施。
また別途、販路拡大のツールのひとつである②展示会出展の際の経費の補助支援を実施。
本事業とこれら①②の支援事業により、企業の強み（技術力・生産性）を伸ばすところから、その強みを対外的に発信（展示商談会等）し、取引拡大・売上向上につなげるところまで一連の支援の実施が可能となる。

【本事業の内容】



【成果目標】

展示会に出展する企業が、成果を上げるための実践的なポイント（出展目的を明確にする、展示会での見せ方を工夫する等）を学び、展示会の活用をより効果的なもの（ブース来訪者の増加、成約数の増加等）とし、売上向上につなげる。
具体的には個別実習参加企業における新規取引成立件数を各社3件以上を目指す。

【波及効果】

- ①展示会が有意義なものになれば、企業の積極的な展示会への参加が期待できる。
- ②展示会への出展目的を明確することで、自社のアピールポイント（強み）を上手く伝える手段を会得。

⇒実質的に県内の経済を支えている中小企業の認知や営業力の向上、取引拡大などの売上向上につながり、企業の経営基盤の強化が期待でき、ひいては県内産業界の活性化へつながる。

【将来の支援目標】

- ①展示会出展費用補助事業との連携検討。
- ②今後、展示商談会を開催する際の出展者説明会に合わせたの展示会対応講習会の実施。